



## 取扱説明書

# VoltOnoSprint (光電管)



はじめに

内容品一覧

使用方法

測定範囲

その他

使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。  
この度は、弊社の商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
商品を末永く安全にご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みいただき、  
正しくご使用いただけるようお願いいたします。  
また取扱説明書は、必要に応じていつでも見ることができるよう大切に保管してください。

# 1. はじめに

## ■ 事前に動作確認をしてください

商品が到着しましたら、次以降のページにしたがって商品を組み立て、動作を確認してください。とくに、大切な測定の前や、長期間ご使用にならなかったときには、必ず事前に動作確認をし、正常に計測できることを確認してください。なお、商品到着後、万が一電源がつかない、光電管が反応しない、などのトラブルがあった際には下記メールアドレスにお問い合わせください。

information@s-cade.com

## ■ 三脚は付属していません

ゲートバッテリーアタッチメントと相性が良いのは下記の三脚になります。なお、これら商品の補償は致しかねますのでご了承ください。

- Amazonベーシック カメラ三脚
- ETSUMI E-2178
- HAKUBA W-312

## ■ 測定値の補償はできません

本機およびiphoneやipadの不具合で測定値が正しく得られなかったとしても測定値の保証につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。加えて、天災、また改造やお客様の不注意により発生した故障や事故に関しましても、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のため写真から合成しています。本書内の製品姿図、イラスト、メニュー画面などは実物と多少異なりますので、ご了承ください。

## ■ 本機との接続対象機器

iPhone6sまたはiPad（第5世代以降）です。現在、Androidではサポート対象外となります。

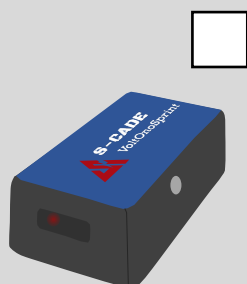
最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<https://www.s-cade.com>

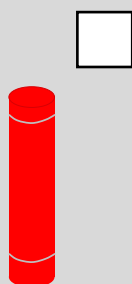
## 2. 内容品一覧

### ゲートをお持ちの方

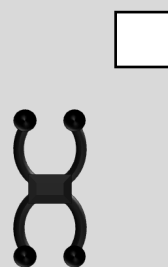
ゲート1つに対して以下の品物がすべて入っているかお確かめください。



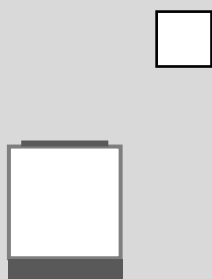
ゲート本体 ※



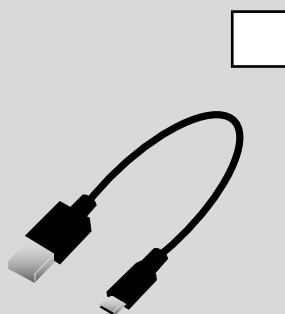
バッテリー ※



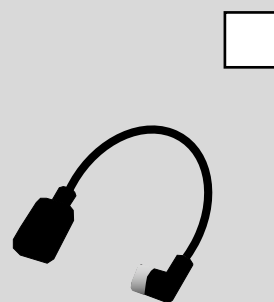
バッテリー  
アタッチメント



反射板



バッテリー  
充電ケーブル



マグネット  
ケーブル

※バージョンによって外観が異なる場合がございます。機能自体は変わらないため、次ページ以降の使用方法に従ってご使用ください

## 2. 内容品一覧

### サーバーをお持ちの方

サーバー1つに対して以下の品物がすべて入っているかお確かめください。



※  
サーバー本体



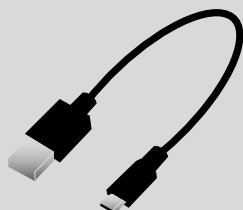
※  
バッテリー



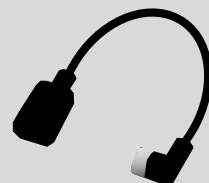
バッテリー  
アタッチメント



アンテナ



バッテリー  
充電ケーブル



マグネット  
ケーブル

※バージョンによって外観が異なる場合がございます。機能自体は変わらないため、次ページ以降の使用方法に従ってご使用ください



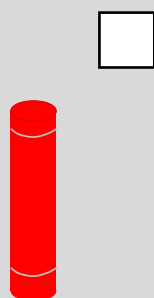
## 2. 内容品一覧

### サーバーゲートをお持ちの方

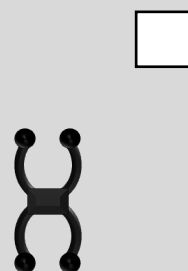
サーバーゲート1つに対して以下の品物がすべて入っている  
かお確かめください。



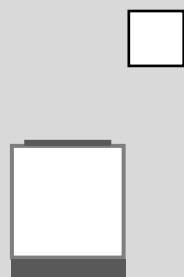
※  
サーバー  
ゲート本体



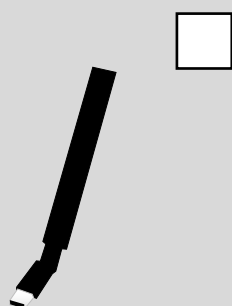
※  
バッテリー



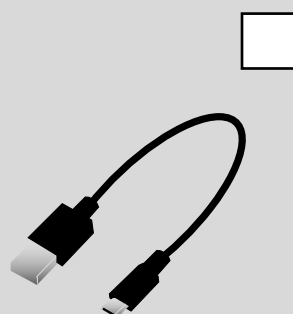
バッテリー  
アタッチメント



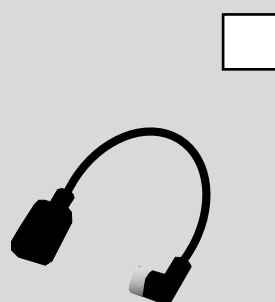
反射板



アンテナ



バッテリー  
充電ケーブル

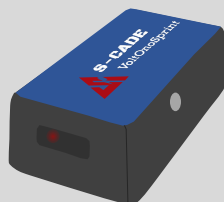


マグネット  
ケーブル

※バージョンによって外観が異なる場合がございます。機能自体は変わらないため、次ページ以降の使用方法に従ってご使用ください

# 3. 使用方法

## ■ ご準備いただくもの



ゲート



サーバー

または



サーバーゲート



反射板



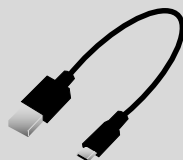
アンテナ



バッテリー



バッテリー  
アタッチメント



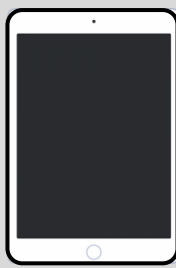
バッテリー  
充電ケーブル



マグネット  
ケーブル



iPhoneまたはiPad (OS14以上)



専用アプリ



iPadOS  
または  
iOS限定

**VoltOnoSprint**

# 3. 使用方法

## ■ ゲートとサーバーの外観説明

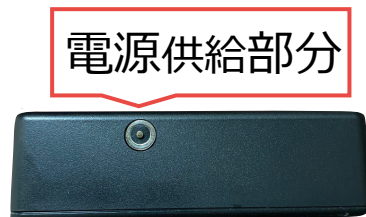
### ● ゲート



外観



表面



側面

### ● サーバー（ご購入時期によっては形状が異なる場合がございます）



外観



表面



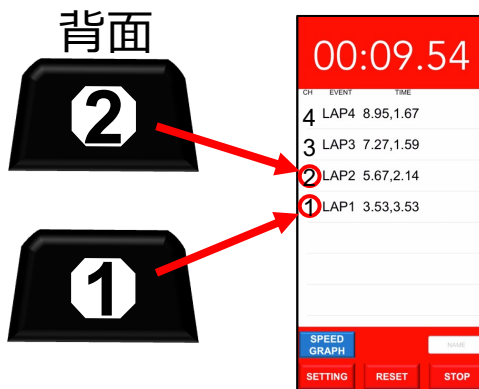
側面

### ● サーバーゲート



## ■ 光電管の番号

光電管ゲート背面には番号が割り振られています。  
光電管の番号は、アプリ左側に表示されているチャンネル（CH）番号と対応しています。



# 3. 使用方法：測定前準備

## ■ アプリのダウンロード



Download on the  
App Store



## ■ ハードウェア準備

### サーバーゲートをお持ちの方

#### ● サーバーゲートの接続



1. サーバーにアンテナを接続し、サーバーを三脚に固定します

2. バッテリー充電ケーブルとマグネットケーブルを結合し、結合したケーブルをバッテリーに挿します



3. バッテリーアタッチメントを用いて、2で組み立てたバッテリーを三脚と結合し、マグネット部分をサーバーゲートに接続します



4. アンテナの付け根が**青色点灯**していれば正常に起動しています。

5. その後数秒後に**音が鳴り始めます**。  
以降の手順に関しましては10ページの  
ゲートの接続6からと同様の手順となります。



# 3. 使用方法：測定前準備

## ■ ハードウェア準備

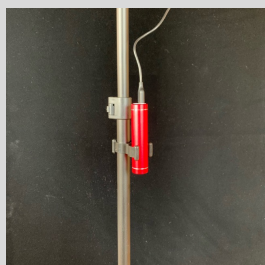
### サーバーをお持ちの方

#### ● サーバーの接続



1. サーバーにアンテナを接続し、サーバーを三脚に固定します

2. バッテリー充電ケーブルとマグネットケーブルを結合し、結合したケーブルをバッテリーに挿します



3. バッテリーアタッチメントを用いて、2で組み立てたバッテリーを三脚と結合し、マグネット部分をサーバーに接続します



4. アンテナの付け根が青色点灯していれば正常に起動しています。

サーバーは、  
最大限高い位置で  
セッティングしてください



# 3. 使用方法：測定前準備

## ● ゲートの接続



1. ゲートを三脚に設置します。



2. バッテリー充電ケーブルとマグネットケーブルを結合し、結合したケーブルをバッテリーに挿します。



3. バッテリーアタッチメントを用いて、2で組み立てたバッテリーを三脚と結合します。



4. マグネット部分をゲートに接続します。



5. 光電管のセンサーランプが赤く光ったら電源供給が正常に行われています。



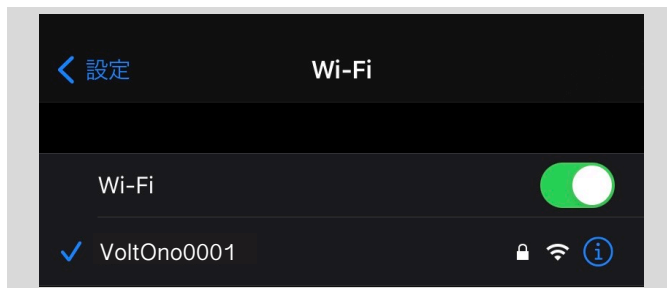
6. その状態で約1分間放置しておくと音が鳴ります。音がなったらサーバーとの接続が正常に行われています。



7. 反射板を合わせて音が鳴らなくなったら計測準備完了です。

# 3. 使用方法：測定前準備

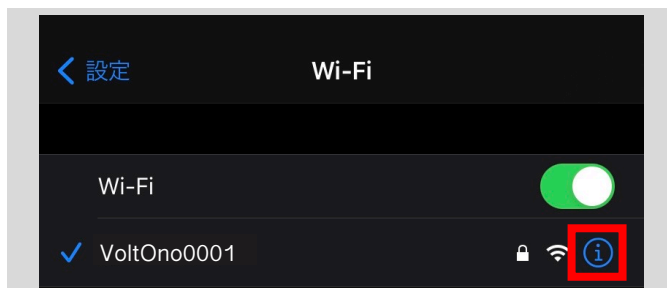
## ■ アプリの接続



1. 設定→Wi-Fi→「VoltOno〇〇〇〇」を選択してください。  
(〇〇〇〇には数字が入ります)

**パスワードに「voltono001」を入力**

2. VoltOnoSprintアプリを開いてください。



3. ⓘ ボタンを押してWi-Fiの詳細設定画面に移ります。

4. **日頃から使用している**Wi-Fiの自動接続をOFFにしてください。

測定データが画面に表示されないエラーが出現する可能性を大幅に下げることができます。

**これでアプリ側での測定前準備は完了です。**



# 3. 使用方法：測定前準備

## ■ 光軸の合わせ方

- ✓ 光電管と反射板の距離は最大4mです。
- ✓ 光軸が合っていない時には、音が鳴り続けます。
- ✓ 光軸を合わせているのにも関わらず音が一切ならない場合は、光電管とサーバーが接続できていない状態です。サーバーのアンテナランプとゲートのセンサーランプが点灯しているか確認してください。
- ✓ バッテリーを接続しても音がならない場合は、サーバーのUSBケーブルをバッテリーから抜いて再び差し込んでください。



この目線でセッティングすると合わせやすいです。



# 4. 測定項目

## ■ 測定項目

PDFで閲覧の方は、項目名をタップすることで目的のページに飛ぶことができます。

### Run Test



Run



Multi



Relay



Infinity



FV profile

### Agility Test



Sound



Arrow



Colorful



Y-Agility

### Endurance Test



Repeated Sprint  
Ability

### Other Test



Custom Lane



Video Analyze



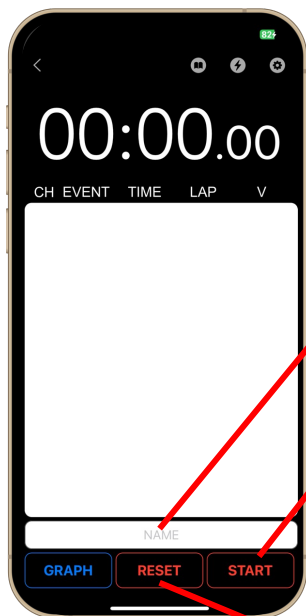
S-MAS by File

# 5. 基本機能

## ● 3秒ルール

ゴール（タイマーオフ）から3秒以内は次のスタートを検知しません。

## ● ボタンとテキストボックスの説明機能

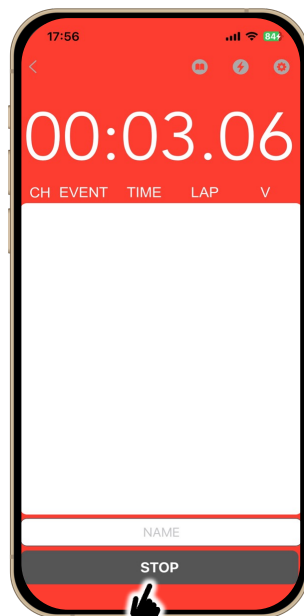


CSV出力時に登録した名前が記載されます。

音声スタート用のボタンです。p16へ

記録をリセットします。リセットされると同時にデータがフォルダ内に保存されます。p16へ

|                |      |
|----------------|------|
| 16:26 3月14日(日) |      |
| 完了 ≡           |      |
| NAME           | TIME |
| 山口             | 2.09 |
| EVENT2         | 2.07 |
| EVENT3         | 3.37 |



STOPを押すと  
測定中のタイマーが0に戻ります

## ● PASS TIME

光電管で誤検知することを防ぐ機能です。PASS TIME機能を用いることで、入力された秒数の間に同じ光電管を通過しても計測されることはありません。何も入力しないと通過時に2度検知してしまうので、1.5秒以上に設定しておくことをおすすめします（デフォルトで1.5が入力されています）。

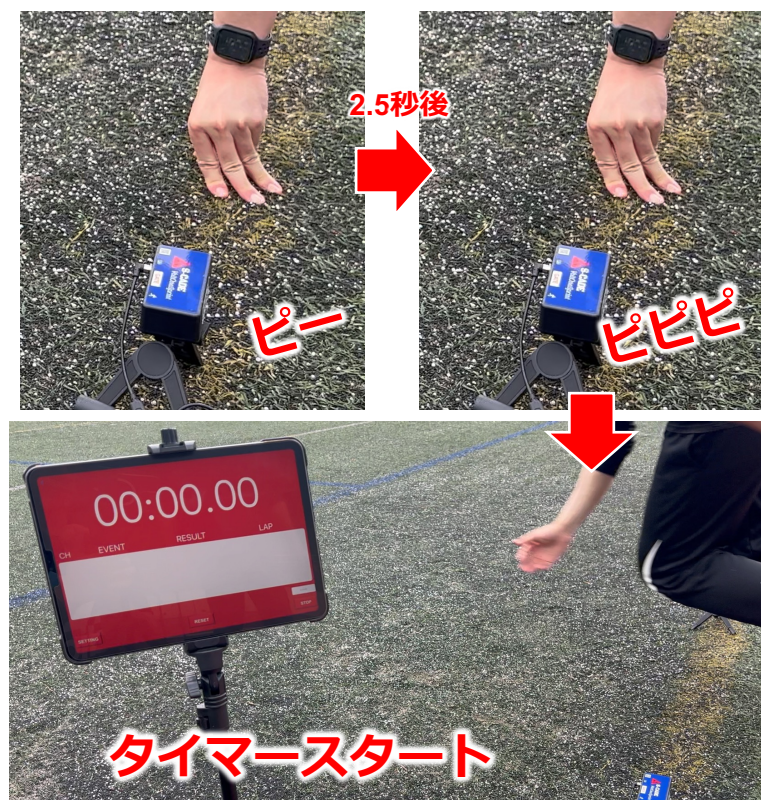


# 5. 基本機能

## ● SHUT OUT

ゲートの光軸を手や脚で遮ると、「ピー」と音が鳴ります。  
約2.5秒で音が変わり（\*1）しますので、その後スタートして遮るものがないとタイマーがスタートします。

\*1：デバイス上ではカウントが『GO』の表示へ切り替わります。



## ● 光電管ゲートの接続台数確認機能



右上の⚡を押すと、インジケータが表示されます。



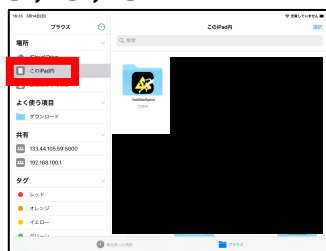
現在の接続台数が分かります

# 5. 基本機能

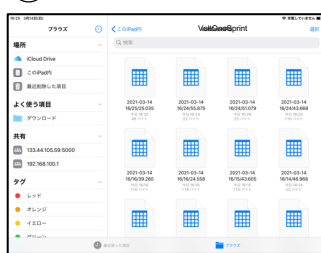
## ● CSVデータの保存方法

- ① RESETボタンを押すと表示がリセットされると同時にデータがiOS内に保存されます。
- ② iOSアプリの「ファイル」を開きます。なければダウンロードしてください。
- ③ ファイルアプリを開き、左のリストから「このiPhone内」または「このiPad内」を選択します。
- ④ VoltonoSprintフォルダを開きます。
- ⑤ 確認したいファイルを長押しし、クイックルックを選択します。
- ⑥ イベントごとのタイムが確認できます。
- ⑦ 右上の共有マークより、メールやメッセージなどファイルの転送方法を選択してください。

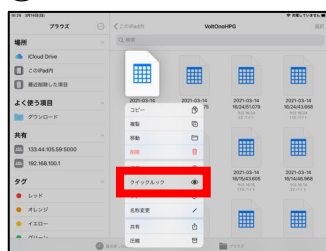
②, ③, ④



④



⑤



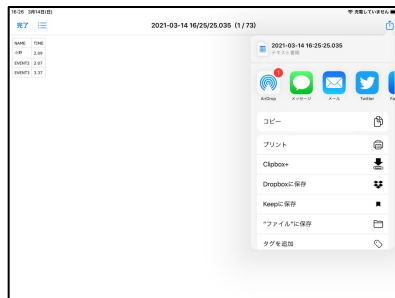
⑥

16:26 3月14日(日)

完了 ⋮

| NAME   | TIME |
|--------|------|
| 小野     | 2.09 |
| EVENT2 | 2.07 |
| EVENT3 | 3.37 |

⑦



# 5. 使用方法：アプリ機能

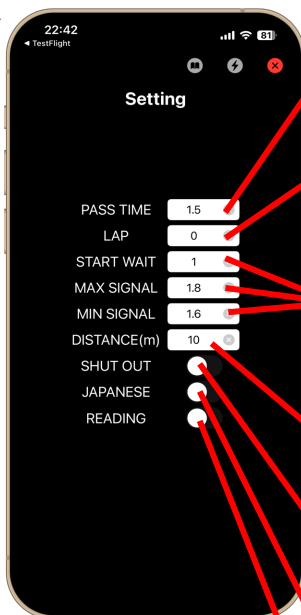
[目次へ](#)



## Run Test

### — Run —

最もベーシックなスプリント測定モードです。  
通常の直線走でご使用する際にはこちらをご活用ください。



連続遮光による誤検知を防ぎます。p14へ

ラップ数を設定します。下図

音声スタートまたはアジリティ使用時に使うボタンです。  
STARTボタンを押してから「セット」の音が鳴り出すまで、  
またはモニター上に指示が表示されるまでの時間を定義  
します。p18へ

テーブルビューへ反映させる速度の基準となる距離を  
入力します。

光軸を遮ったところからスタートする機能です。p15へ

音声スタート時に『よーい、パン!』へ変わります。

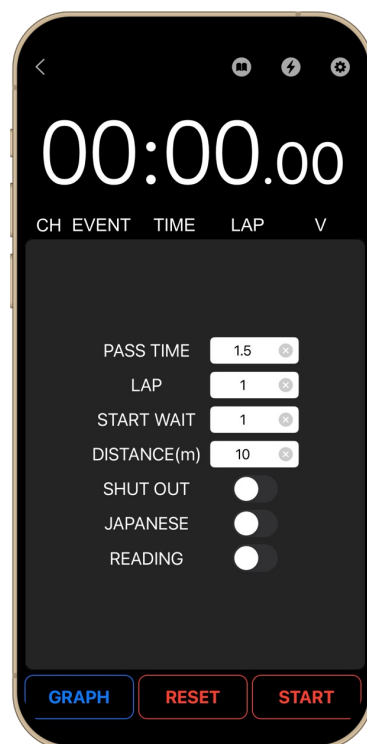
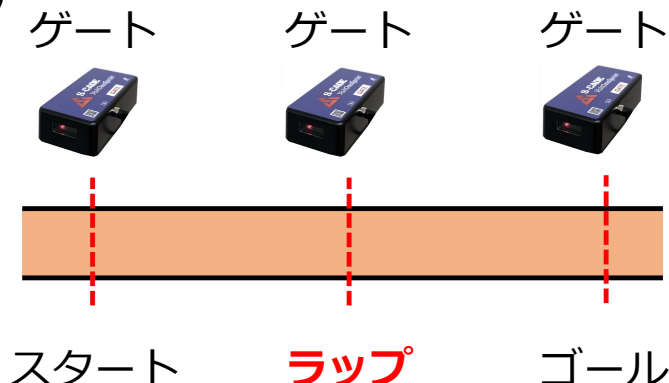
ラップタイムは最終タイムを読み上げます。

SETTINGを押すと  
各種機能設定画面が開きます

### ● LAP

入力された数字の数だけLAPを取ります  
(デフォルトで0が入力されています)。  
下記の例ではLAPに「1」を入力します。

例)





# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



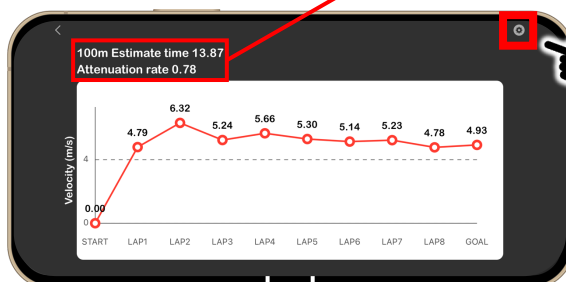
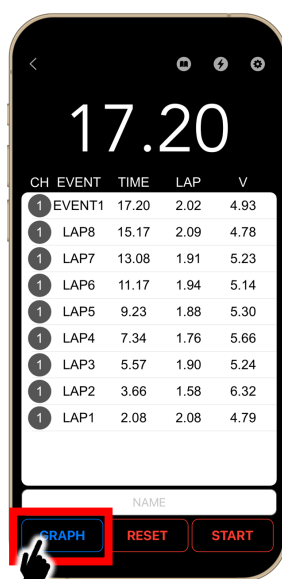
## Run Test

### — Run —

最もベーシックなスプリント測定モードです。  
通常の直線走でご使用の際はこちらをご活用ください。

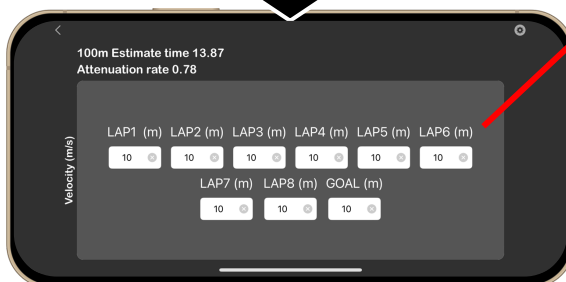
### ● スピードグラフ機能

ラップ測定後、SPEED GRAPHボタンをタップすることで即座に速度曲線を作ります。



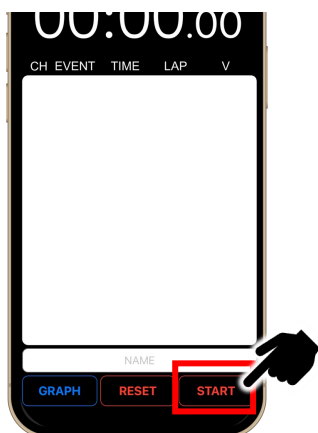
100m Estimate time: 推定タイム  
Attenuation rate: 減衰率

設定画面へ



各ラップの距離を  
定義することが  
できます。

### ● 音声スタート機能



スタートボタンを押します。

押した後、START WAITで定義した秒数後に「セッット」という音声が流れます（p15）。その後、使用デバイスから「パンッ！」と音が鳴り、タイマーがオンになります。ゴールに設置されたゲートを通することでタイマーが止まります。

※MAX/MIN SIGNALでスタート号砲の間隔を調整することができます。

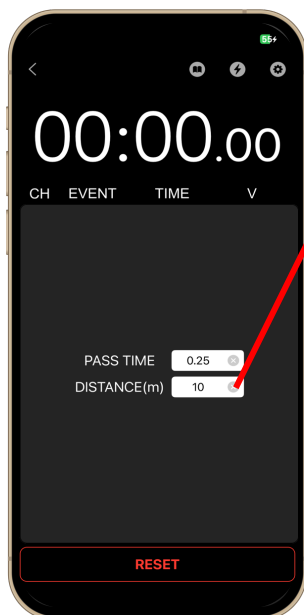
# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



## — Multi —

先行者がゴールせずとも立て続けに計測が可能なモードです。  
2つのゲート（場合によっては光電管ゲートを含む）を使用します。



テーブルビューへ反映させる速度の  
基準となる距離を入力します。

※最初の走者の通過したch番号に従って計測されます。  
逆走してもタイムは計測されません。



※こちらの画像上では、すでに1人目がゴールしたところから2人目がスタートしています



# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



## — Relay —

陸上のリレータイムを測定することに特化した機能です。受け手側の通過は無視し、渡し手側がスタートの光電管を通過したときにタイマーがスタートします。受け手側がゴールの光電管を通過したときにタイマーがストップします。



## — Infinity —

ラップの設定をすることなく、通過したゲートのタイムを取得し続けるモードです。最後に通過したゲートのタイムをアプリ上に表示します。アジリティ種目において「ゲートを何回通過するのか不明」な場合に有効な機能となっています（例：10m×5、5m×3など）。



## — FV profile —

スプリントの力-速度プロファイル（FV profile）を測定するモードです。スプリント加速パフォーマンスにおいて、力と速度のどちらが不足しているかを評価することができます。

必要情報の入力画面

The screenshot shows a mobile app interface for entering athlete information and gate distances. The fields are as follows:

| Field            | Value |
|------------------|-------|
| Name             | test  |
| Height (cm)      | 170   |
| Body mass (kg)   | 70    |
| 1st distance (m) | 5     |
| 2nd distance (m) | 10    |
| 3rd distance (m) | 15    |
| 4th distance (m) | 20    |
| 5th distance (m) | 30    |
| 6th distance (m) | 40    |
| Gender           | Man   |

A red box highlights the distance input fields (1st to 6th distance). A red box highlights the Gender field. A red box highlights the DONE button at the bottom.

オプション画面に移移します

選手情報(氏名、身長、体重)を入力します

ゲートを設置した距離を入力します  
※ 10, 20, 30 m のゲートは必須です

性別を選択します



# 5. 使用方法：アプリ機能

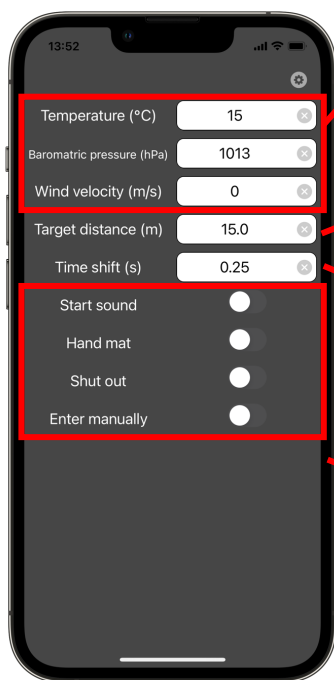
[目次へ](#)



## — FV profile —

前のページからの続きです。

### オプション画面

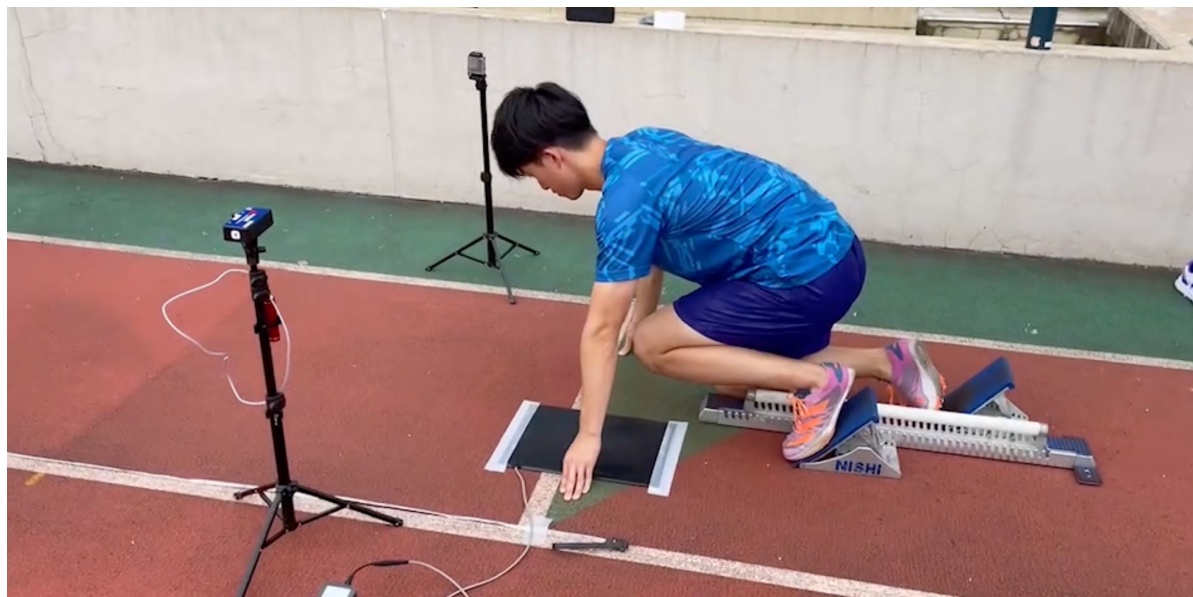


タイム計測時の気温、気圧、風速を入力します  
※ 向かい風の場合、風速はマイナスの値で入力してください

最も速く走りたい距離を入力します

走者の動き出し～第1ゲート通過(もしくは Shut out 検知)までのタイムを入力します  
※ 次のタイム計測画面でも変更可能です

音声スタート機能(p16)、ハンドマット(下記参照)、Shut out 機能(p13)、タイム計測結果の手入力機能を用いる場合は該当ボタンをタップしてください



# 5. 使用方法：アプリ機能

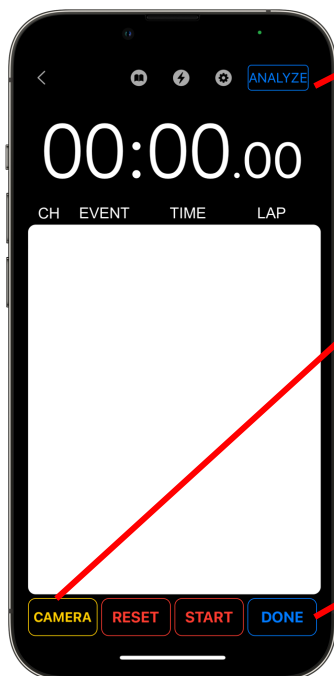
[目次へ](#)



## — FV profile —

前のページからの続きです。

計測画面

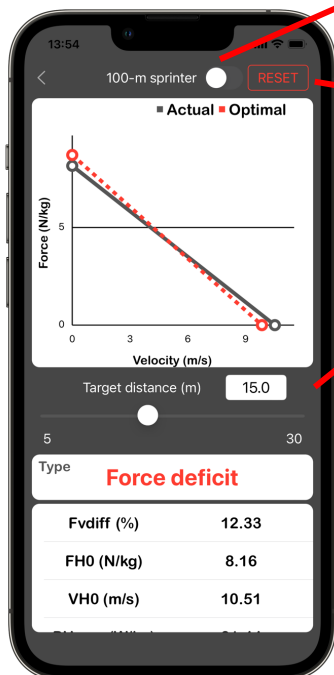


CAMERAで録画した動画を再解析する機能です

タイム計測の際に、CAMERA 機能を用いて走者の動き出しを横から撮影しておくことで、その走者にとって適切な Time shift の秒数を算出することができます

タイム計測が完了した後に「DONE」をタップすると結果画面に遷移します

結果画面



世界レベルの 100-m スプリンターのデータと比較することができます

最初の結果画面に戻ります

カーソルを横にスライドすることで様々な Target distance を選択することができます  
※ 手入力による変更も可能です



# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



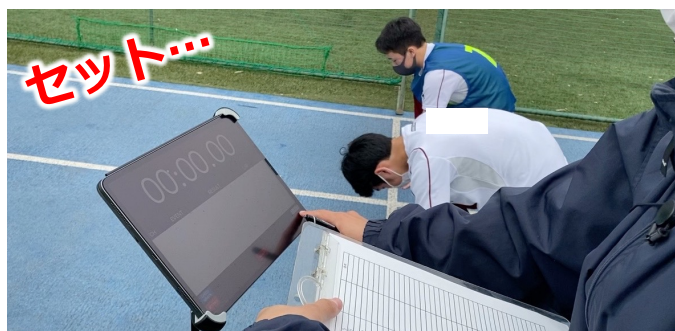
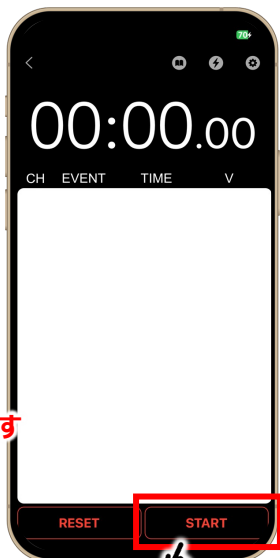
## Agility Test

### — Sound —

複数レーンでの音声スタートに特化したモードです。



PERSONで走者数を変更します



スタートボタンを押します。

押した後、START WAITで定義した秒数後に「セツト」という音声流れます（p15）。その後、使用デバイスから「パンツ！」と音が鳴り、タイマーがオンになります。

ゴールに設置されたゲートを通過することでタイマーが止まります。

JAPANESEのスライドボタンをオンにすることで、日本語での音声スタートになります（「よーい」「パンツ！」）。

# 5. 使用方法：アプリ機能

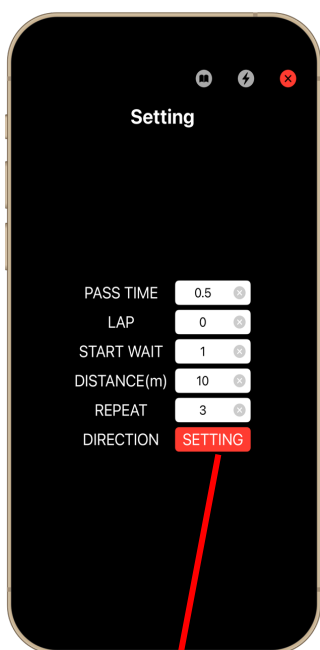
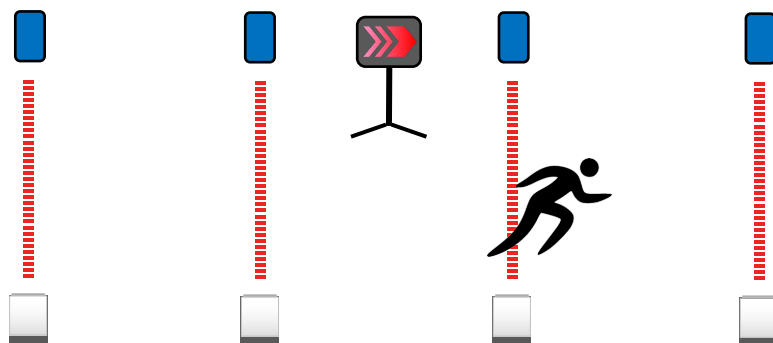
[目次へ](#)



## — Arrow —

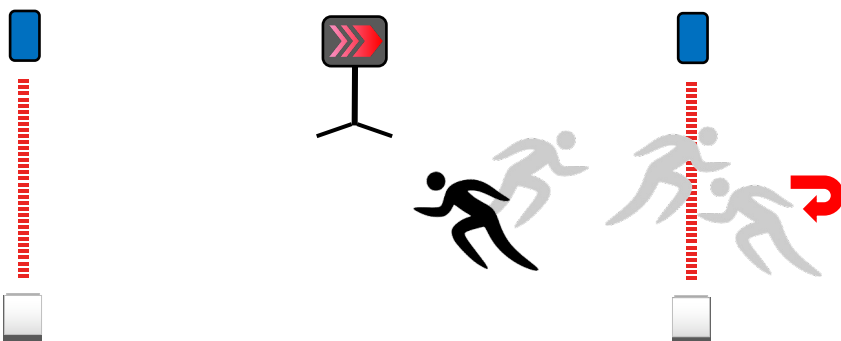
使用デバイス上に表示される矢印に反応するアジリティタイムを計測します。  
LAPを設定することで複数台のアジリティテストでもご利用いただけます。

複数ゲートを使用する場合にはLAPを1以上にご覧ください。  
下図の例ではLAPが1になります。



表示される方向の選択  
が可能

複数回のArrowアジリティを行う場合には  
REPEATを1以上にご覧ください。





# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



## — Colorful —

使用デバイス上に表示される色に反応するアジリティタイムを計測します。

事前に指定した色（STARTの色）がモニターに表示されたら  
タイマーがスタートします。

LAPとREPEATの使用方法は[P24](#)のArrowと同様です。





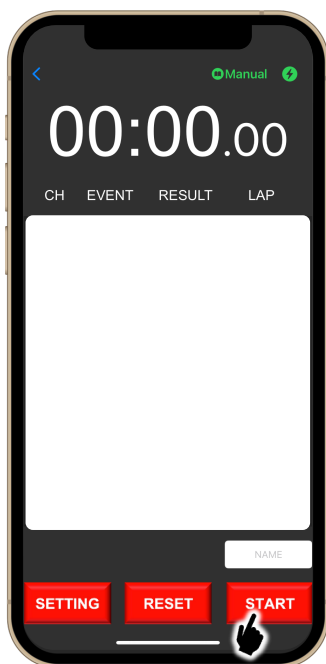
# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)

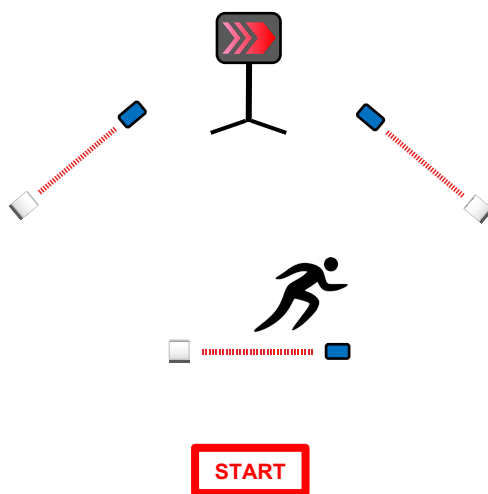


## — Y-agility —

使用デバイス上に表示される指示に反応するアジリティタイムを計測します。Y-agilityテストが実施可能となっております。



最初の光電管を通過した後、「START WAIT」で定義した秒数後に矢印が表示されます。ゴールまでのLAPタイムを測る場合には、LAPの数字を1以上にご覧ください。



① 通過前はオンになっていません。



② 一つ目のゲートの通過後に矢印が表示され、タイマーがオンになります。



③ 矢印の方向に走ります。



④ ゲートを通過するとタイムが表示されます。

# 5. 使用方法：アプリ機能

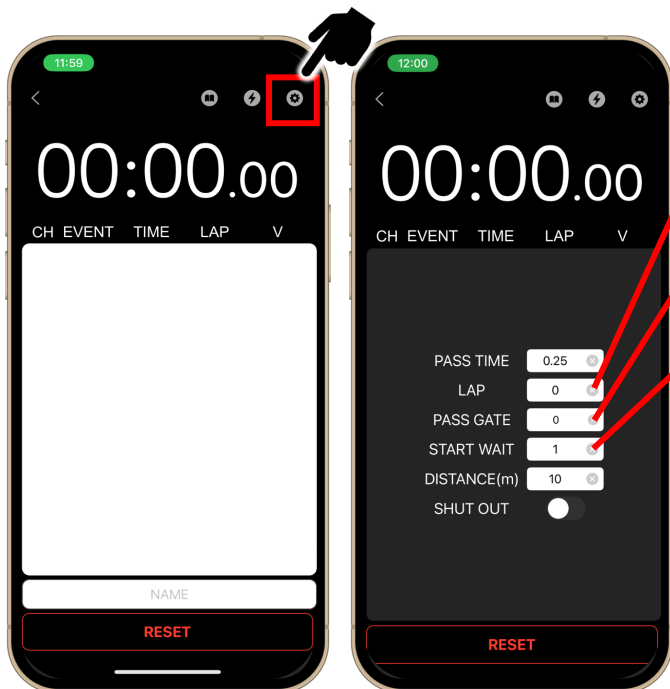
[目次へ](#)



## — Y-agility —

使用デバイス上に表示される指示に反応するアジリティタイムを計測します。Y-agilityテストが実施可能となっております。

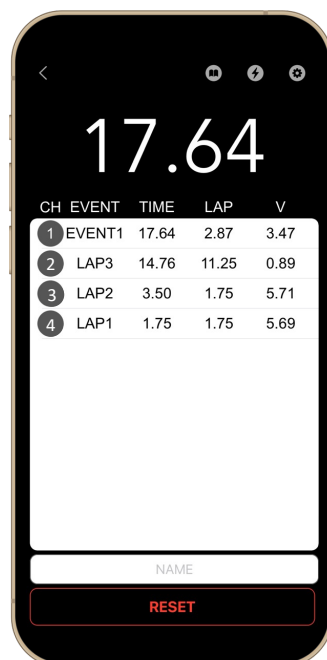
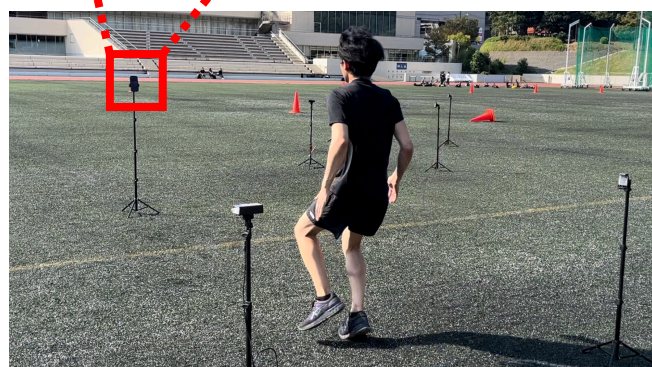
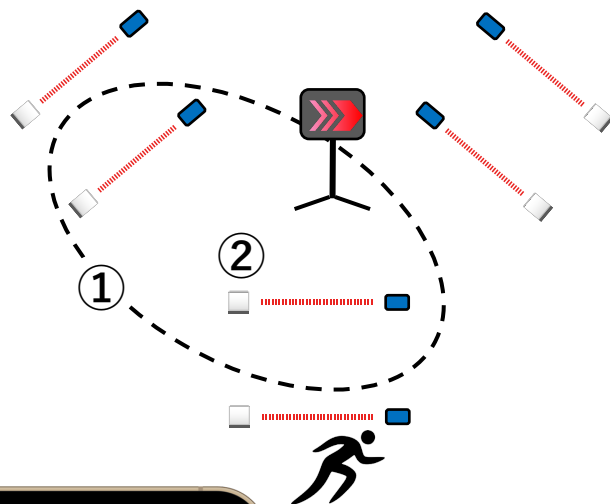
ご利用には最低3台のゲート（サーバーゲート含む）が必要となります。



スタートとゴールを除いたゲート数を指定してください。(①)

スタートを除いたデバイスまでのゲート数を指定してください。(②)

②地点に設置した最後のゲートを通過後から、左右どちらかの矢印表示が表示されるまでの時間を指定してください。





# 5. 使用方法：アプリ機能

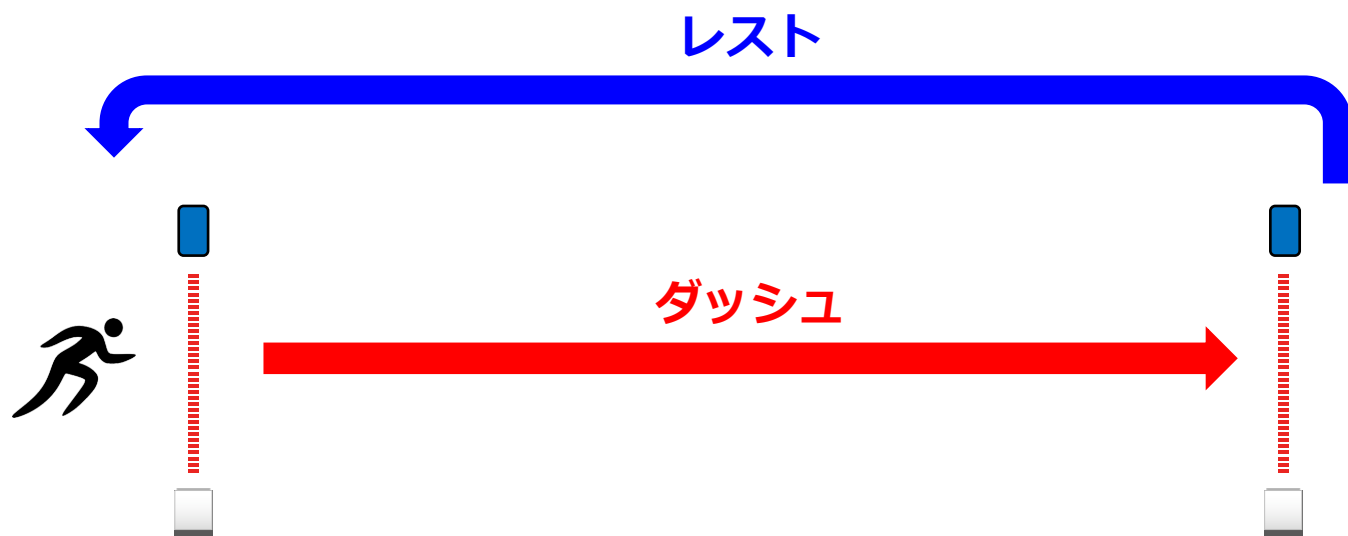
[目次へ](#)



## Endurance Test

### — Repeated Sprint Ability —

休息を挟みながら複数回スプリントを繰り返すテストです。最大速度のスプリントを高い頻度で再現できる能力（Speed endurance）を評価します。



# 5. 使用方法：アプリ機能

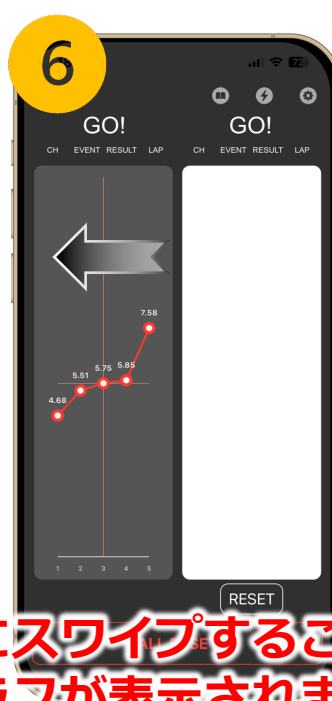
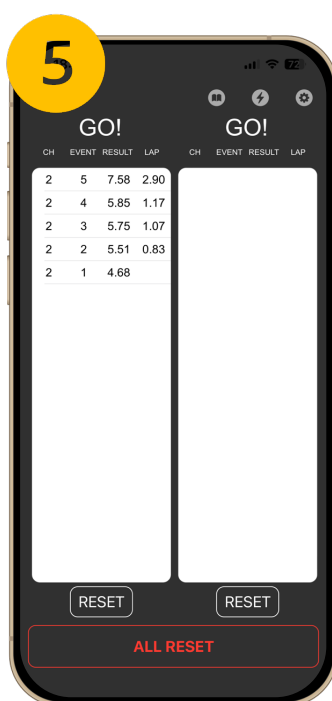
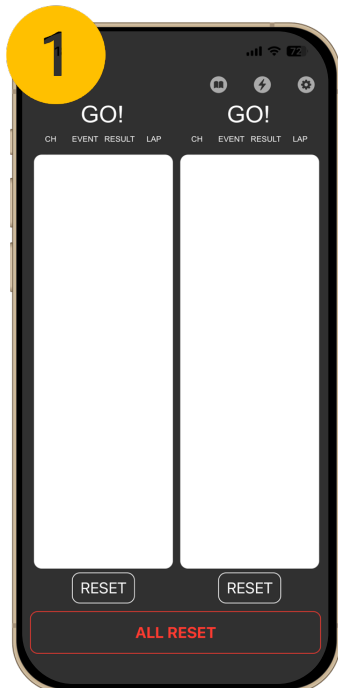
[目次へ](#)



## Endurance Test

### — Repeated Sprint Ability —

休息を挟みながら複数回スプリントを繰り返すテストです。最大速度のスプリントを高い頻度で再現できる能力（Speed endurance）を評価します。



# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)



## Other Test

### — Custom Lane —

カスタムレーンを使用することで、各レーンが独立して動きます。  
1サーバーで最大4レーンまで分割表示します。



レーン数を定義します。

1レーン内に設置するゲート数を定義します。以下のモードでは使用するch数を入力してください。

モード変更ができます。BothはShutOutとInfinityを同時に使用できるモードです。

連続遮光による誤検知を防ぎます。  
p14へ

音声スタートを使用する場合には、STARTを押してください。ALL STARTを押すことで全レーンが起動します

ALL RESETで全てのレーンがリセットされます。

各レーンの下のボタンで、そのレーンのみの操作ができます。

# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)

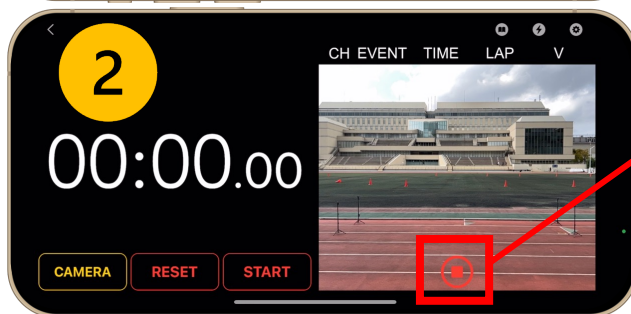
## Other Test

### — Video Analyze —

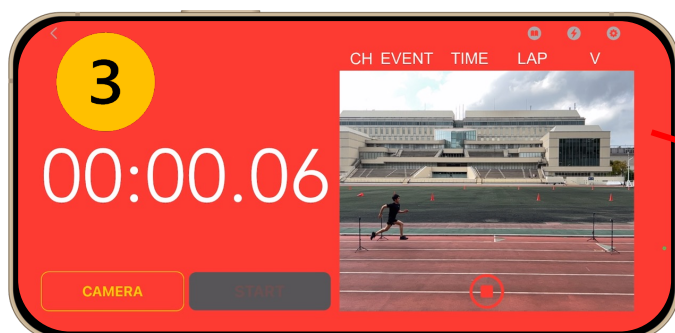
ビデオ撮影をしながらピッチやストライドの分析が可能なモードとなります。  
横画面でのご利用を推奨しております。  
三脚を使ったセッティングを推奨しております。



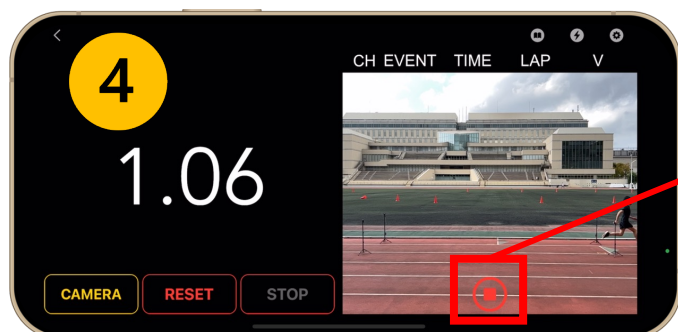
カメラを起動します。



撮影ボタンを押すことでビデオ撮影が始まります。  
測定前に必ず押してください。



光電管の通過や音声スタートで画面が赤くなり測定が開始されます。



測定終了後に再度撮影ボタンを押してください。  
自動的にP32の分析画面へ移動します。



# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)

## Other Test

### — Video Analyze —

ビデオ撮影をしながらピッチやストライドの分析が可能なモードとなります。  
横画面でのご利用を推奨しております。



5

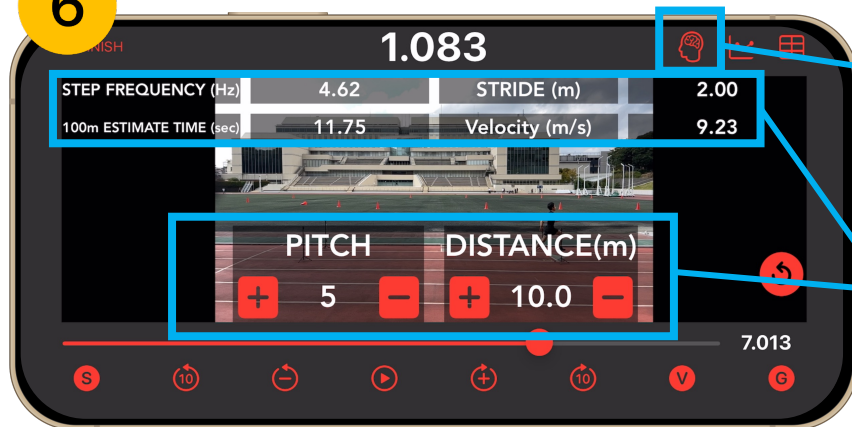


⑤を押すことで光電管の通過タイミングへ自動で移動します。  
状況に応じてスライダーで調整してください。

⑤を押し、分析タイミングの始まりを設定してください。

⑥を押し、分析タイミングの終わりを設定してください。

6



評価ラベルが表示されます。

PITCHとDISTANCEを増減させることで以下の内容が変化します。

- ・STEP FREQUENCY(Hz)
- ・STRIDE(m)
- ・100m ESTIMATE TIME(sec)
- ・Velocity(m/sec)

7



P31の①画面へ戻ります。

ラップを1以上に設定していた場合にスピードグラフが表示されます。

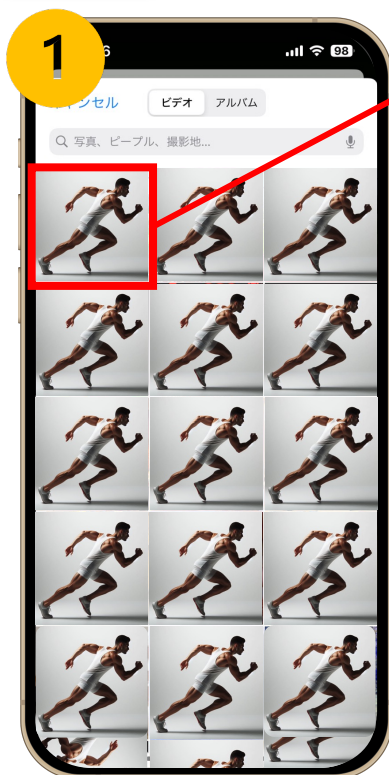
# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)

## Other Test

### — S-MAS by File —

すでに撮影されている動画をインポートし、スプリント走メカニクスの観点からハムストリングスの肉離れ受傷リスクを定性的に評価するスクリーニングツールです。



1 解析したい動画を選択します。

解析ボタンを選択して解析を  
始めます。

動画は拡大縮小が可能です。

撮影した動画のフレームレート  
を入力します。

動画の再生、コマ送りをする  
ことができます



3 Yes/No回答後に次の設問へ  
移行します。

評価補助グリッド線を表示(On/Off)します

姿勢推定により以下の角度を表示します。

L：大転子-膝関節中心-外果(左脚)

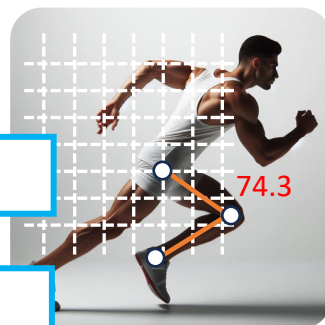
R：大転子-膝関節中心-外果(右脚)

LR：大転子-両側の膝関節中心

T：大転子-第七頸椎の傾き(動画内鉛直角)

※ポイントは指で移動可能です。

設問に対して回答を選択します。



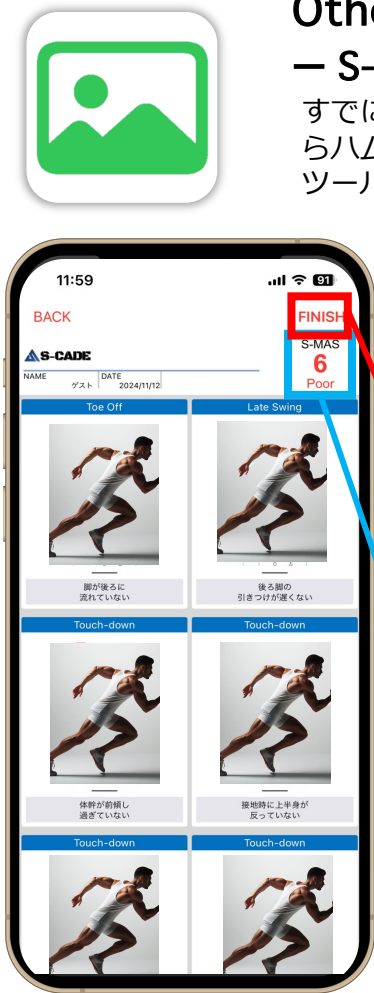
# 5. 使用方法：アプリ機能

[目次へ](#)

## Other Test

### － S-MAS by File －

すでに撮影されている動画をインポートし、スプリント走メカニクスの観点からハムストリングスの肉離れ受傷リスクを定性的に評価するスクリーニングツールです。



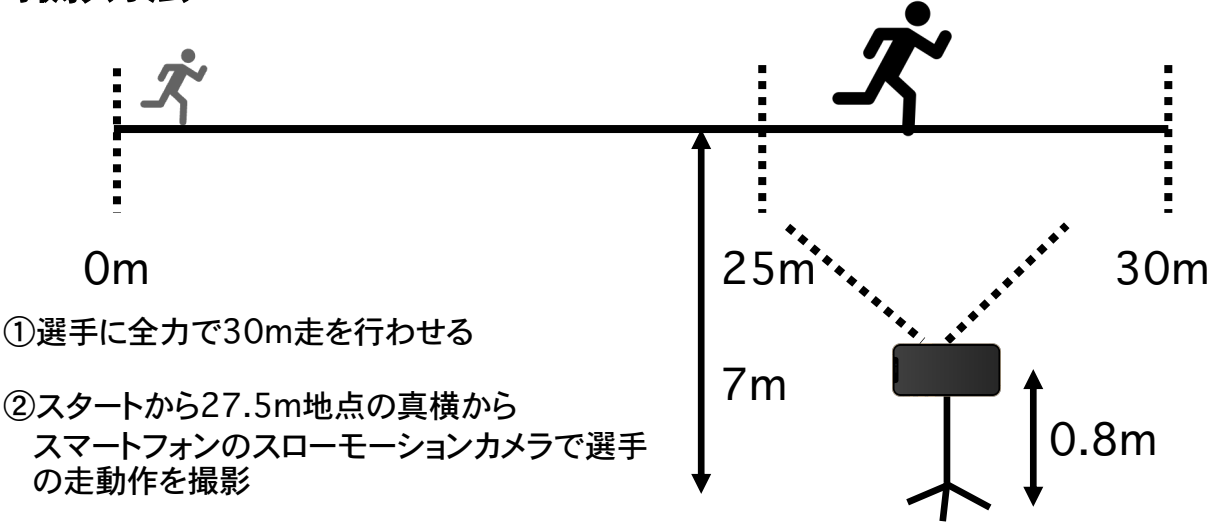
Finishを選択し名前を入力することでpdfファイルとして保存されます。(P16)

スコアが表示されます。

| 説明             | S-MAS | T-Score |
|----------------|-------|---------|
| Excellent      | 0     | 33.8    |
| Excellent      | 1     | 37.7    |
| Good           | 2     | 41.5    |
| Average        | 3     | 45.4    |
| Average        | 4     | 49.2    |
| Average        | 5     | 53.1    |
| Poor           | 6     | 57.0    |
| Very Poor      | 7     | 60.8    |
| Very Poor      | 8     | 64.7    |
| Very Poor      | 9     | 68.6    |
| Very Poor      | 10    | 72.4    |
| Very Poor      | 11    | 76.3    |
| Extremely Poor | 12    | 80.1    |

## 撮影方法

※エリートサッカー選手の場合

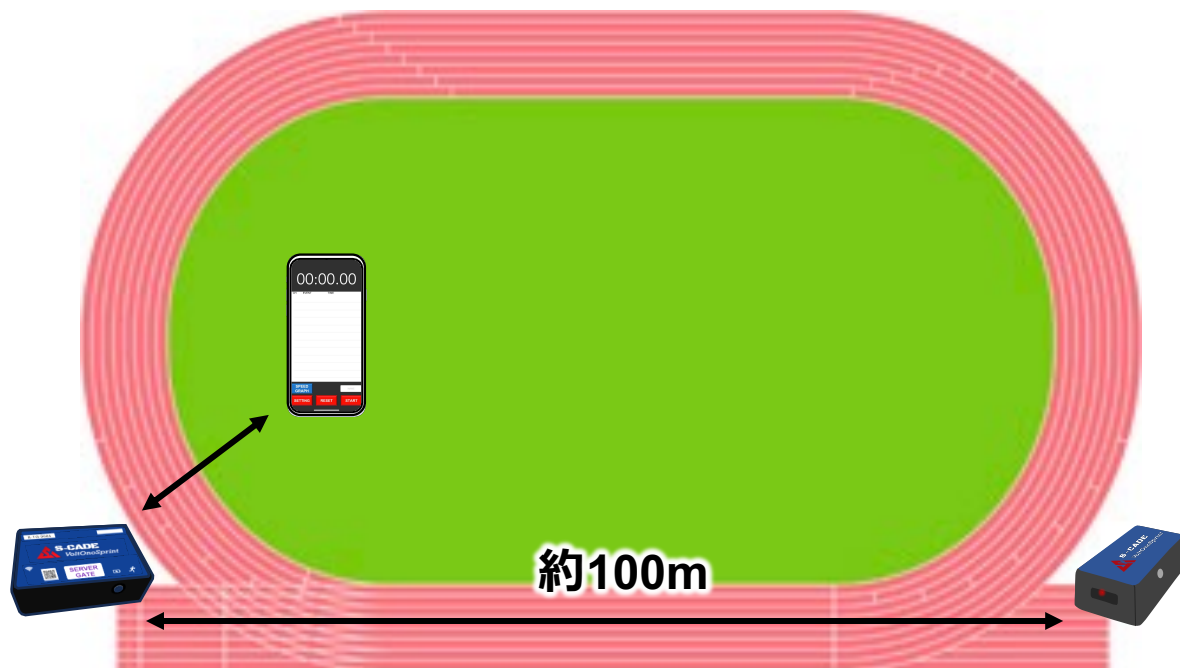


- ①選手に全力で30m走を行わせる
- ②スタートから27.5m地点の真横からスマートフォンのスローモーションカメラで選手の走動作を撮影

# 6. 測定範囲

- ✓ サーバーと光電管、スタートボックス、iPadとの最大通信距離は**約100m**※です。
- ✓ サーバーは測定区間の中間地点に設置するほうが通信が安定します。
- ✓ 通信状態を良好に保つために、サーバーと接続されたiOSデバイスはサーバーの近くに置くことをお勧めします。

※周辺環境によって距離が増減しますのでご注意ください。



## ■ よくある質問

- ゲートのセンサーランプが光らない
  - ・ マグネットが正しく接続されていない可能性があります。
  - ・ マグネット部分にゴミが付着していると電源供給がうまくいかない場合があります。乾いた布等で綺麗にしてください。
- ゲートの音が鳴らない
  - ・ サーバーのアンテナランプは点滅していますか？
- アプリ起動時にエラーメッセージがでてしまう
  - ・ Wi-Fiに接続しましたか？
- ゲートの音が鳴っているのに、タイマーが動かない
  - ・ Wi-Fiに接続しましたか？
  - ・ Wi-Fiに接続しているにもかかわらずタイマーが動かない場合には、もう一度はじめからやり直してください。
- ゲートの音が止まっているのに、タイマーが動かない**
  - ・ 光軸が合っていない可能性があります。再度確認してください。
- 防水ですか？
  - ・ 防水ではありません。雨天時の使用はお控えください。
- アプリが起動しません
  - ・ 一度アンインストールし、再度インストールし直してみてください



## 7. その他

下表は常温（温度25℃ / 湿度60%）での時間です。時間は目安にしてください。

ゲートバッテリー容量： 2200mA



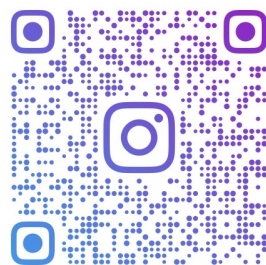
充電中はランプが点滅し、  
充電が満了すると点灯します。

| 満充電時間 | 連続起動時間 |
|-------|--------|
| 約4時間  | 約4時間   |

※本製品はモバイルバッテリーでの使用を前提としています。  
他の電源を使用する場合は自己責任となります。

### ■ さいごに

弊社は「科学的データをスポーツ現場の身近なものに」をコンセプトとしております。価格を極力抑え、機能もシンプルなものにすることで測定機器を手に取りやすいものとし、日本スポーツ界のデータリテラシー向上を叶えるべく活動しております。ジムやスポーツ現場で使いやすい仕様としましたので、ご満足いただけた場合には、ぜひともSNSでご周知いただけますと幸いです。これからも（株）S-CADE.をどうぞよろしくお願いいたします。



S-CADE2021

# 8. 自社商品の紹介

## ■ 商品の紹介

保管・持ち運びに便利な公式ケースやジャンプマットなども取り揃えております。

お求めはこちらから (<https://www.scadeshop.com>)



### ジャンプマットM (43×63)



62,700円 (税込)

### ジャンプマットL (63×86)



92,400円 (税込)

### 光電管公式ケースS



5,830円 (税込)

### 光電管公式ケースL



34,350円 (税込)

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明します。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

|                                                                                             |                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|  <b>危険</b> | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。  |
|  <b>警告</b> | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |
|  <b>注意</b> | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記の絵表示の一例です)

|                                                                                     |                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|  | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。       |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。    |

## 危険

**バッテリーモジュールを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない**

**通信機本体を炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない**



液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。

## 警告

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグに埃がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

### 分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、弊社にご依頼ください。

## 注意

### 異常に室温が高くなるところに置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機やACアダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

### 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気や油や水分、ほこりを伝わり、火災、感電の原因になることがあります。  
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。



## 注意

### 本製品を濡れた手で触らない



本製品は感電防止のためケースで保護されていますが、万が一に備え、濡れた手で触ることはお控えください。

### 雨天時に使用しない



本製品は感電防止のためケースで保護されていますが、万が一に備え、雨天時に使用することはお控えください。

# 保証書

コピー不可

本書は、下記に示す保証期間内に生じた破損を無償修理または交換することをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、弊社に修理を依頼してください。

|          |                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 商品名      | VoltOnoSprint（光電管）                                                             |
| お買い上げ年月日 | お買い上げ日 西暦                      年                      月                      日 |
| 保証期間     | お買い上げ日から1年                                                                     |
| 対象部分     | ゲート本体およびサーバー本体                                                                 |
| お 客 様    | お名前                                                                            |
|          | ご住所 〒                      -                                                   |
| 故障内容     |                                                                                |